

IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門ニュースレター 2010年8月号 (http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/22-newsletter/nl_2010.html)

「モータドライブ技術委員会設立と活動について」



電気学会 産業応用部門 モータドライブ技術委員会委員長
久保田 寿夫 (明治大学)

2010年4月に産業応用部門の新しい技術委員会として、モータドライブ技術委員会が設立された。2009年11月号のニュースレターに研究調査運営委員会委員長の玉井様(現在・部門長)による研究調査運営委員会の記事が掲載されている。ご覧になっておられる方も多いと思うが、記事の中で触れておられる「技術委員会の変革」の最初のケースである。部門技術委員会は部門役員会の直接の下部組織である研究調査運営委員会に属しており、8月現在、その数は14となっている。技術委員会で扱う主な内容は、調査専門委員会・協同研究委員会等の設置に関する事、研究会および見学会の計画と実施、論文委員会との連携、部門大会、全国大会におけるシンポジウムやオーガナイズドセッションの企画である。

モータドライブ技術は産業応用部門で扱う重要かつ基本的なものであるが、これまでは半導体電力変換技術委員会と扱われる技術分野の一つとなっていた。モータドライブ技術は昨今の地球温暖化問題と関連して、ますます重要なものとなってきており、また関連する技術分野は広がっている。このような背景から、半導体電力変換技術委員会(SPC)はもとより、回転機(RM)、リニアドライブ(LD)、自動車(VT)、産業電力電気応用(IEA)、家電関係その他の関連技術委員会とも連携をはかり、多様な展開を図っていく。今年は5月28日(RM,SPCと共催)、6月3,4日(SPC,IEAと共催)、11月(IEA,SPCと共催・予定)、12月(LD,SPCと共催・予定)と4回の研究会を開催予定である。研究会資料の予約は年間購読が前提となっており、前年度の12月のみに申し込めるようになっていたため、モータドライブ研究会の予約をお願いすることができず、SPC研究会資料を予約購読いただいている方々にご不便をおかけしないため、今年開催される研究会はSPCと共催をお願いしている。来年以降はSPCと共催しない研究会も開催予定であり、12月には資料の予約をお願いする次第である。

7月20日には名古屋工業大学において、SPCと共催・VT協賛で「PMモータドライブの基礎技術 -PMモータのしくみから動かす方まで-」と題した初心者向けの講習会を開催する。このニュースレターが発行されるころには、この講習会はすでに終了していることになるが、こういった初心者向け講習会は定期的に開催したいと考えている。新たにモータドライブの研究を始めようとする方、関連する機器・装置を利用される方は是非、ご利用いただきたい。また、8月に芝浦工業大学で開催される産業応用部門大会においては、オーガナイズドセッション「省エネに貢献するモータドライブ技術」を企画している。鉄道、自動車、船舶、風力発電、超大容量駆動に関するモータドライブ技術と省エネ・地球温暖化対策への寄与について、専門家の講師の方々に紹介いただく。

モータドライブ技術委員会の構成員は委員長の他に、1号委員8名、2号委員2名、幹事2名である。調査専門委員会としては、「新応用分野に拡大する可変速交流ドライブの適用技術調査専門委員会」、「PMモータの適用拡大の動向調査専門委員会」の2委員会である。調査専門委員会委員長の方には2号委員として参加いただいている。委員会が発足したばかりであり、委員の人数、調査専門委員会の数、ともにまだ少なめであるが、活動を発展させるとともに、増やしていきたいと考えている。委員会活動に意欲のある方の参加をお願いする次第である。また、モータドライブ技術委員会で扱ってほしいテーマ(調査事項)など、ご提案いただければ積極的に取り上げていきたいと考えている。

新しい「モータドライブ技術委員会」の今後の発展にご期待下さい。